

第9回 定例教育委員会議事録		日 時 : 令和5年9月25日(月)	
		場 所 : 菱刈庁舎3階大会議室	
開会、閉会に関する事項		14時00分 開会 14時45分 閉会	
出席委員	教育長 春田 浩志 教育委員 永野 治 教育委員 長野 則夫 教育委員 久保田 悦子 教育委員 長野 吉泰	議場に出席した者の氏名	教育総務課長 平崎 祐実 学校教育課長 久木田 昌之 社会教育課長 中村 康雄 文化スポーツ課長 浅山 典久 学校給食センター所長 有馬 洋一郎 書 記 日高 一寛 書 記 川原 維弘 書 記 中原 百恵
	議事日程		別紙のとおり
審 議 状 況			
<p>(春田教育長) ただいまから令和5年9回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(日高係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(春田教育長) 「令和5年第8回定例教育委員会議事録」の承認を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(日高係長) 令和5年第8回定例教育委員会議事録について報告 (別紙「概要報告書」により報告)</p> <p>(春田教育長) ただ今、事務局より「令和5年第8回定例教育委員会議事録」の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(春田教育長) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(春田教育長) 「令和5年第8回定例教育委員会議事録」については、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。 教育長の報告については、お手元の令和5年8月25日から令和5年9月24日までの教育長諸般の報告をもとに説明します。 (別紙:「諸般の報告」により日をおって報告)</p> <p>(春田教育長) 続きまして、委員の皆様方からのご報告をお願いしたいと思います。まず、永野治委員お願いいたし</p>			

ます。

(永野委員)

8月27日始良・伊佐地区子ども会大会・創作活動大会がありました。活動発表の中で南永地区子ども会と霧島市の子ども会育成会の発表がありました。南永地区子ども会は児童が全員8人での発表で、印象に残ったのが、真ん中にいた児童が原稿なしでの発表でびっくりしました。地域がまとまって子供たちも元気良くいい発表でした。その中で、「地域に守られている子ども会だ」という事と「地域に感謝をしています」というのが、印象に残るいい発表でした。

9月10日大口中央中学校体育大会がありました。子供たちがきびきびとして、応援もよく声がそろっていて、一生懸命さが伝わる体育大会でした。

9月24日大口東小学校・牛尾小学校運動会に行きました。大口東小学校は地域の運動会と一緒にあって地域と一体となった運動会でした。印象に残ったのがプログラムにはなかったんですが、中学生のリレーがあり、みんな一生懸命走っていて好印象でした。

私の方からは以上でございます。

(春田教育長)

はい、ありがとうございます。続きまして、長野則夫委員お願いいたします。

(長野則夫委員)

9月24日湯之尾小学校・田中小学校運動会に行きまいりました。まず湯之尾小学校の開会式から参加しました。非常に子供たちがきちんと整列して良い開会式でした。例年の運動会は来賓もテントの前に出て開会式に参加するというものだったと思いますが、今回はテントの中で開会式というものであったので、やはりテントの前に行くというのが運動会らしさがあるのではないかと感じました。準備運動でラジオ体操を行いました先生たちがきびきびとした動きで、それを見て子供たちがきちんとしたラジオ体操が出来ていたのではないかと思います。田中小学校に移動して運動会も非常に良かったんですけども、校長先生と話をすることで、来年度は児童が増えるという事で人数が増えるという事はいいことだなと思いました。どちらの小学校もいい運動会で、リフレッシュできる運動会でした。

私の方からは以上でございます。

(春田教育長)

はいありがとうございます。久保田悦子委員お願いいたします。

(久保田悦子委員)

9月17日菱刈中体育大会を参観させていただきました。開会式も競技も一生懸命取り組んでいて、生徒同士がお互い応援・声援を送りながら観ている方が気持ちよくなるくらい、上級生も下級生も関係なくお互い声を掛けていてすごく良い体育祭だったなと思います。

9月24日菱刈小学校・本城小学校・南永小学校運動会に行かせていただきました。菱刈小学校は開会式からでしたが、1年生は小学校初めての運動会でしたけれどもしっかり入場してきて整列して、校長先生が話をされるときには体を向けて、しっかり朝礼台の方を見て開会式に臨んでいたのが感心して観させていただきました。本城小学校は、6年生の親子競技を観させていただいて凄く親同士も、学校の先生との関係も良くて、微笑ましい雰囲気で行われていました。南永小学校はテントの中にモニターが設置してあり何のためにここに置いてあるのかと思っていたら、今までこの運動会が行われるまでの練習風景の映像で、日頃の取組とかも見られてこういうのもいいよなと思って感心しながら見させていただきました。地域の方たちが楽しみに運動会を待っていたのだな、高齢な方たちもすごく楽しそうにそういう方たちも参加できるような競技を取り入れて、学校と地域が一緒になって運動会を盛り上げていращやるなというのを感じたい運動会でした。

以上です。

(春田教育長)

はいありがとうございます。長野吉泰委員お願いいたします。

(長野吉泰委員)

9月10日大口中央中体育大会に行き来しました。さすが中学生というぐらい皆きびきびとして、競

技自体も凄くレベルの高いものを見させていただきました。4年ぶりに昼までという事で昼食の時間もありましたが、凄く暑い日でしたが教室をクーラーを入れて開放してもらって涼しいところで昼食が取れて良かったです。次の登校日からうちの息子もだったんですけども熱が出て、聞いてみると1・2年生がインフルエンザで学年閉鎖になったという事で、昼ごはんを教室で食べたからとかそういう事だけが原因ではないと思いますが、学年閉鎖があったことは残念でした。

9月24日山野小学校・平出水小学校・羽月小学校の運動会を観させていただきました。山野小学校は開会式から観させていただいて、小さい頃から知っている子供もいて6年生になり、応援団長をしたりして、凄く立派になっていて感動しました。式全体も行進もしっかり出来たし、校長先生のあいさつもしっかり聞いて、歌も凄く元気よく歌って大変すばらしい開会式だったと思います。徒競走まで見て平出水小学校に行きました。地元の太鼓踊りが終わったところで、今から開会式が始まるころでした。平出水は地域のコミュニティとすごく連携している小学校で、開会式も地域の方も一緒に参加する形で平出水らしい平出水のマスコットである「とがめん」の被り物を被った方もいてなかなかいい開会式だったと思います。次に羽月小学校に行きました。ちょうど保護者の方が綱引きをしていて、綱引きとか玉入れとか子供もするんですけども保護者も低学年の赤白の対決、高学年の赤白の対決という事で大変盛り上がっていました。3校それぞれに特色のある運動会をされていて良かったです。

以上です。

(春田教育長)

ありがとうございました。

教育長及び委員の報告については、以上でよろしかったでしょうか。

体育大会、運動会の報告がありました。先ほど出たように私も複数開会式から出席しましたが、学校によっては校長先生が「来賓の方もすみません。前の方に」とおっしゃる所もあれば、特にない所もありましたし、最初立っておいて準備運動が始まる前に「もう暑いですので、テントの中にどうぞ」という声掛けをしてくださる所もあって、その3種類くらいですかね。来賓も行かれた時にどうすればいいかと考えたときに、どちらでもいいと私は思いますが、学校側から指示があった方が来賓の方々にとっては動きやすいかなというのはあると思います。そう感じたということは、学校側に伝えたいと思います。

それでは次に、議事に進みたいと思いますが、今回は付議事件が2件ございます。

今回は非公開とするべき案件はございませんでした。

それでは、議事に入ります。

まず、議案第22号「伊佐市部活動地域移行推進協議会設置要綱の策定について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(久木田課長)

定例会資料は、3～5ページになります。本件は、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第3号の規定により、伊佐市部活動地域移行推進協議会設置要綱を策定することについて、教育委員会の議決を求めるものです。

資料4ページの(別紙)「伊佐市部活動地域移行推進協議会設置要綱」を御覧ください。

第1条では、「学校と地域が協働・融合し、生徒にとって望ましい持続可能な部活動及び教職員の負担軽減の両立に向けた部活動の地域移行の在り方を検討する」という設置の意義を述べています。

第2条では、所掌事務について4項目掲げております。

第3条では、推進協議会の組織について触れております。協議会委員については、掲げております11の役職等の方に、教育委員会が委嘱、任命することにしております。

また、委員の任期は1年、再任も可能としております。

第4条では、推進協議会の会長を、教育長とし、職務を会務の整理と推進協議会の代表としております。

第5条では、会議について述べております。

第6条では、庶務を学校教育課におき、諸事務を処理することとしております。

第7条は、その他とし、この告示以外の事項の取扱いについて述べております。

この告示は、本日令和5年9月25日から施行したいと考えております。

なお、この後ですが、11月13日（月）に第1回目の推進会議を開催する予定にしております。
以上です。よろしくお願いいたします。

（春田教育長）

ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご質問ご意見等ございませんでしょうか。

（永野委員）

第3条で委員の組織がありますが、地域移行とするのには、コミュニティの代表は入れなくてもいいですか。

（久木田課長）

これから先、すぐに地域移行というわけにいかないと考えておまして、必要であれば3条第1項11号前号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者ところで入れていこうという考えでございます。

（春田教育長）

今、学校教育課長がご説明しましたとおり、地域の移行となりますと子供たちの部活動は、文化かスポーツかという事になりますと、一番地域の中でのスポーツでしたらスポーツ協会、文化でしたら文化協会が一番パイプが強いという事で、まずそちらの代表にお集まりいただくという考えでの提案でございます。

（永野委員）

はい。わかりました。

（春田教育長）

ほかにございませんか。

質問ご意見等ないようですので、議決に入りたいと思います。

議案第22号「伊佐市部活動地域移行推進協議会設置要綱の策定について」賛成の方は挙手をお願いします。

（全員）

はい（挙手）

（春田教育長）

賛成多数ですので、議案第22号は議決されました。

次に、議案第23号「令和5年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

（中村課長）

本件は、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条13号の規定により令和5年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について議決を求めるものでございます。資料は、7・8ページに被表彰者を紹介しております。前回の定例教育委員会の中でご紹介しました7名をあげてございますので詳細は省略させていただきます。よろしくお願いいたします。

（春田教育長）

ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご質問ご意見等ございませんでしょうか。

質問ご意見等ないようですので、議決に入りたいと思います。

議案第23号「令和5年度伊佐市社会教育関係功労者表彰の被表彰者の決定について」賛成の方は挙手をお願いします。

（全員）

はい（挙手）

（春田教育長）

賛成多数ですので、議案第23号は議決されました。

以上で、準備された議事については終わります。

次に、委員から提出された動議の討論等に入ります。

前もって提出された動議はありませんが、何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(春田教育長)

ないようですので、以上で討論等を終わります。

その他の件に入ります。

その他何かございませんか。

(久木田課長)

別紙の全国学力・学習状況調査の結果についての資料を説明します。

この表は、平成30年度から令和5年度までの過去6年間の全国学力・学習状況調査の平均正答率を示したものです。小学校は6年生が対象で科目は国語・算数、中学校は3年生が対象で科目は国語・数学・英語です。

まず、県や全国との比較結果です。小学校は国や県の結果よりも少し下回っているものの、ほぼ同程度となっています。中学校は、国や県の平均を下回っています。

次に、教科別結果の小学校と中学校の比較です。小学校の国語は、県差が県との差が-1ポイント、算数も-1ポイントです。中学校は、県との差が、国語で-4ポイント、数学では-5ポイントとなり、小学校よりも差が広がっています。また、英語につきましては、中学校で-8ポイントと県との差が大きくなっています。

また、データとしてお示ししておりませんが、学力調査とともに実施される質問紙調査では、中学校生徒の「国語の授業はよく分かりますか。」の質問に対し「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた生徒が78.6%、数学では63.4%、英語では56.1%という結果でした。これらは、学力調査結果に比例する結果となっているため、中学校だけでなく、小学校においても、改めて「分かる」「できる」授業、児童生徒一人一人に応じた個別最適な学びが展開される授業になる取組がこれまで以上に大切になります。また、各学校の実態に合った分析と改善が大切です。伊佐市の実態は、1学級40人の学校から1学年1人の複式学級まで様々な状況があります。そこで、分析は学校や学年ではなく、学級や個人などより小さい単位での分析が児童生徒の学力向上につながります。

その一方、もう一つの分析としまして、中学校の結果について、令和4年度までに国や県と比較した結果と比べると、少しずつ差が縮まってきています。令和5年度は、ここ6年間の中では、県との差が一番小さい-5.7ポイントであり、令和4年度より約4ポイント縮まっています。この結果から、今後さらなる授業改善が必要なものの、各学校での分析を踏まえた取組の成果が少しずつ出ているのも確かであると考えています。

今後の市の取組です。先日の管理職研修会で、本調査の結果を各学校に伝え、平均正答率の県との差が大きい問題や質問紙による児童生徒の意識調査結果に着目した分析を進め、授業改善につながるよう指導しました。また、各学校での校内研修をはじめ、大口中央中校区と菱刈中校区での小中一貫教育での9か年を見通した学習指導の充実を図ります。市が実施する研修会をはじめ、県が実施しているコアティーチャーやコアスクールの事業等と連携しながらさらなる教職員の資質向上を図っていきます。また、本市は全国と比較してICTをよく利用しているという結果が出ています。そこで今以上にICTの効果的な活用についても研修や実践を積み重ね、授業改善を図っていきます。

以上でございます。

(春田教育長)

このことについて、委員の皆さんからご質問等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(春田教育長)

	<p>その他何かございませんでしょうか。 では、特にないようですので、これもちまして、令和5年第9回定例教育委員会を閉会いたします。 (日高係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p>